

～ひだまり～

3年2組 学級目標

金 声 玉 振

～その手で未来を切り拓け～

第3学年だより

第18号

作文特集号「運動会を終えて」～2組～

運動会にまつわる作文特集号も、いよいよ最後のクラスとなりました。最終号は色別準優勝を果たした2組の作文を紹介します。今回も、素晴らしい2作品を掲載します。是非お読みください。

「中学校最後の運動会」

今年の運動会は、中学校最後ということもあって特別な想いで取り組みました。私は短距離走、全員リレー、色別綱引き、大ムカデ競走、学級対抗リレーに出場し、さらに放送委員として実況も担当しました。

運動会練習の最初の頃は、リレーや大ムカデ競走で意見が合わず、クラスの雰囲気がピリピリしていました。誰がどの順番で走るか、大ムカデのタイミングが合わないことなど、小さなことでもクラスの士気が下がってしまいました。でも、みんなで話し合い練習を重ねるうちに、少しずつまとまりが出てきました。そこで私は自分の意見だけでなく、周りの意見を聞くことの大切さを学びました。

本番当日、私は競技にも実況にも集中しました。リレーで作戦がうまく行ったとき、みんなで喜んだあの瞬間は今でも忘れられません。ムカデも予行ではダントツのビリでしたが、本番では3位を取ることができました。自分たちの努力が実ったことを実感しました。

今回の運動会を通して、私は団結することの強さを学びました。最初はバラバラだったクラスが、ひとつの目標に向かって変わっていき、自分自身がその中にいて体験できたことは、すごく貴重な体験だったと思います。そして、一人で頑張るよりもみんなで力を合わせることで、大きな力になるということを学びました。

中学生最後の運動会は、ただの思い出ではなく、これから先の人生でも大切にしたい体験となりました。

今 後 の 予 定	日	予 定
	16(月)	放 チャレンジ教室
	17(火)	【期末考査】 英・国・音 給食なし
	18(水)	【期末考査】 社・美・保体 給食なし
	19(木)	【期末考査】 数・理・技家 給食あり
	20(金)	⑥カット、5時間授業 放 実行委員会

3年生の大切な期末試験を前に、運動部では、最後の試合に向けての練習や大会があり、両立を目指している人たちが多くいます。修学旅行の実行委員会も開催され、勉強が気になっているのか、なかなか組織が決まらず、時間がかかってしまいました。3年生ってやはり大変です。しかし、今までの先輩たちも乗り越えてきた道です。後悔がないように全力で臨んでください。

裏面にも、もう一作品を掲載しています。運動会作文特集号の最後の一本になります。是非、お読みください。

「情熱謳歌」

「なおき！」「なおき！」

私は今、3年生の団体競技である大ムカデ競走をしている。あともう少して男子にバトンを繋げ、私たちの想いを託すことができる。ゴールに近づくにつれ、後ろから荒い息が聞こえてきた。しかし、掛け声は小さくなるどころか、逆に大きくなっているように感じる。私たちの最後の力を振り絞り、脚を交互に動かし続けた。そして、一周回り終えたところで、女子全員の想いをのせたタスキを男子に渡した。私が達成感に浸っていると、後ろからみんなの話し声が聞こえてきた。「すごく良いじゃん！」と褒め合っている声が聞こえたり、私たちが1回もミスをしなくて1周できたことに驚いている様子が見られたりした。

ふと私は、初めて大ムカデ競走を練習した日のことを思い出した。一人ひとりの「こうしたらもっと上手くいくでしょ！」という強い想いがぶつかり合い、女子の中で大きな亀裂が入ってしまった。私自身も正直、「練習で仲が悪くなるくらいだったら運動会なんてやりたくない。」こんな負の感情が胸の内に漂っていた。互いが互いを責め合い、お世辞にも良い雰囲気だとは言えなかった。だが、そんな中でも大ムカデ競走でいい結果を残したいという強い想いは誰しもが抱えていた。そこで、先生が話し合いの場が設けてくださり、このクラスで大ムカデ競走をより良いものにするための意見を出し合った。何回も何回も試行錯誤をし、並び順だって4回、5回は変えただろう。その度に、改善案を出し最終的に一人ひとりが自分の力を存分に発揮できる位置を見つけることができた。

そんなことをつい最近のことのように思い出しているうちに、次の競技の出番が来た。私は、大ムカデ競走で経験した楽しさや怒り、悔しさを胸に抱きながら運動会に参加できたことへの喜びを噛みしめていた。そして改めて一人ひとりが想いをぶつけ、一致団結することの大切さを知った。今年の運動会は、それぞれが周りの人のために情熱を謳歌している運動会だった。

【担任の先生から】

本番当日まで、本当にいろいろありましたね。何回も悔しい思いをしましたね。ときには途中で嫌になって投げ出そうとしたり、もう無理だと諦めかけていたりという姿も見えました。意見が食い違い険悪な雰囲気がクラスに漂っていたこともありましたね。私はそれら全部が嬉しかったです。それは、それだけ運動会という行事に一生懸命に向き合っている生徒が多いという証明だからです。予行練習でボロボロに負けたとき、その後のクラス会議で、ムリにでもテンションを上げて必死に作戦会議に参加をする皆さんの姿をみて「このクラスは大丈夫だ。」と確信しました。当日は自分たちの持てる以上の力を出し切って、結果を残すことができましたね。皆さんの頑張る姿に心を動かされました。そして、諦めないことの大切さや、より良いものにするために本音で話し合うことの大切さを改めて皆さんが教えてくれました。私にとっても大切な思い出になりました。本当にありがとう。

3年2組だけでなく、本番に至るまでに忘れられないドラマが各クラスであったことでしょう。それらの経験を大切に、これから控えている学校生活や様々な行事、そして進路決定に向けて一丸となって向かっていきましょう。